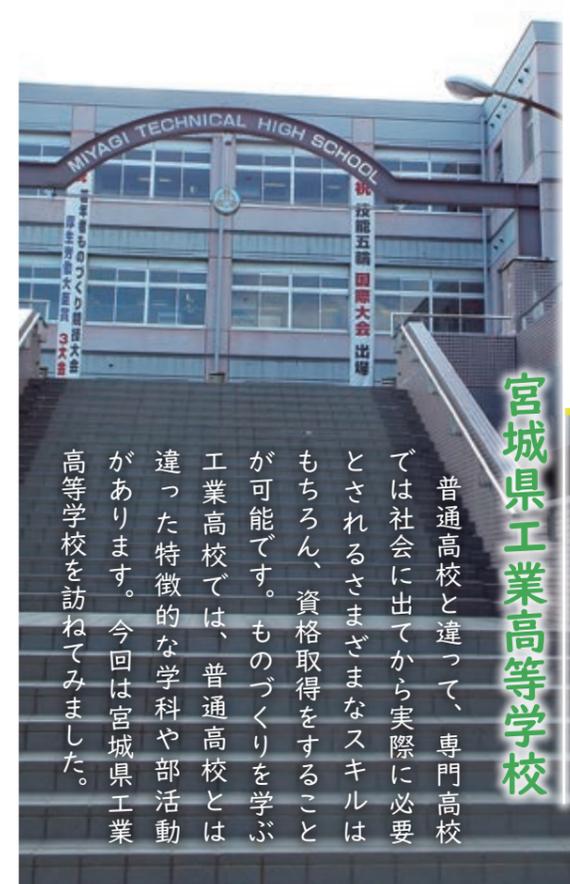




ものづくり 学校訪問



宮城県工業高等学校

普通高校と違って、専門高校では社会に出てから実際に必要とされるさまざまなスキルはもちろん、資格取得をすることが可能です。ものづくりを学ぶ工業高校では、普通高校とは違った特徴的な学科や部活動があります。今回は宮城県工業高等学校を訪ねてみました。

特徴的な部活動

情報研究部

情報研究部は「技能五輪全国大会」や「若年者ものづくり競技大会」、「全国高校生プログラミングコンテスト」、「WRO（ワールドロボットオリンピックアド）」などの各種大会における上位入賞を目指して活動しています。2019年度には、技能五輪国際大会（ロシア連邦カザン）へ現役高校生として初の日本代表選手として出場しています。

インタビュー

田沼虎哉さん（3年生）

高校でプログラミングを学びたいと思って入学したのですが、よりプログラミングスキルを高めたいと情報研究部に入部しました。5人でチームを組み、全国高校生プログラミングコンテストでの優勝を目標に取り組んできたのですが、今年、見事優勝し目標を達成することができました。今後は大学に進学し、IoTについて学びたいと思っています。



宮城県工業高校は、1913年2月に機械科、電気科、工芸科の3学科で開校し、今年で創立110年目を迎える歴史と伝統のある工業高校です。

現在は、機械科、電子機械科、電気科、インテリア科、化学工業科、情報技術科の6学科を有しており、工業高校としては県内最大となります。また、「もの（技術）づくり、ひと（人材）づくり、ゆめ（未来）づくり」をキャッチフレーズに、難度の高い資格の合格者はもちろん、専門性を生か

したコンテストや各種競技大会に参加し、数多くの入賞者を輩出しています。卒業後の進路の45%が進学であり、毎年10名程度が国公立大学へ進学しているのも特徴です。

部活動も運動部15、文化部23、合計38の部活動があり、自動車部や弱電部、情報研究部や機械技術部といった工業高校ならではの部活も多数存在しています。授業以外にも専門性に特化した技術を学ぶことで、東北大会や全国大会などで輝かしい実績を残しています。



県工ホームページ

機械技術部

機械技術部は、ものづくりに関する知識・技術・技能を身に付け、充実した設備で頭の中にあるイメージを実際の形にする活動をしています。さまざまな資格取得や、ものづくりに関する競技への参加を通して、実習から一歩踏み込んだ力を身に付けることができるのも魅力の一つです。

インタビュー

山田龍之介さん（2年生）

何かしら技術を身に着けたいと考え、機械設備が充実している県工に入学しました。旋盤はただ削るだけではなく、1ミクロンの精度が必要な技術です。今年、高校生ものづくりコンテストみやぎ大会の旋盤作業部門で1位になりましたが、今後東北大会、全国大会、技能五輪に出場し、良い成績を出せるよう頑張ります。



特徴的な学科

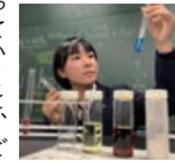
インテリア科

身の回りの「造形」に注目し、家具製作やインテリアなど、美しく機能的な空間づくりに必要な技術を身に付けられるのがインテリア科です。インテリア空間に必要な要素であるインテリア、デザイン、建築、木材工芸について総合的に学べる県内唯一の学科です。



化学工業科

環境分析や食品、プラスチック、医薬品など、私たちが普段利用するさまざまな製品の元をたどっていくと、どこかで必ず化学反応と出会います。こうした化学技術を学べるのが化学工業科です。卒業生の6割が大学（国公立大学を含む）へ進学しています。



電子機械科

IoT技術をはじめとする電子回路を学び、卒業後は企業のエンジニアとして活躍します。電子制御やプログラミングを学びたい人はぜひ！



電気科

第一種電気工事士等の国家資格を多数取得できます。また、サッカー部や野球部等で活躍する生徒が多いのも特徴です。卒業生は、電力関連の企業で活躍しています。



アンケート回答方法



- 1 上のQRコードを読み込む。
- 2 アンケートに回答
- 3 抽選
- 4 当選したらプレゼントの送付先を入力・送信

プレゼント



1等 青木保憲選手の直筆サイン 2名様



2等 仙台89ERS タオル 10名様

オガレ！ ACE 読者アンケート募集

オガレ！ ACEは、読者アンケートを実施いたします。回答方法は、QRコードを読み込んで、アンケートフォームに入力するだけ！皆様から寄せられた感想や意見は、今後の「オガレ！ ACE」の編集に活用し、より読みやすく、親しみのある誌面を目指します。アンケートにお答えいただいた中から

抽選で仙台89ERSのグッズをプレゼント